

薬物生理学研究室
Pharmaceutical Physiology
生物物理化学
Biophysical Chemistry

教授	酒井 秀紀	Hideki Sakai
准教授	清水 貴浩	Takahiro Shimizu
助教	藤井 拓人	Takuto Fujii

◆ **著 書**

- 1) 酒井秀紀. カラー図解 よくわかる生理学の基礎. 第2版. 佐久間康夫監訳. 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル; 2017. 第10章, 栄養と消化吸収; p. 238-79.
- 2) 酒井秀紀. ギャング生理学. 原著 25 版. 岡田泰伸監修. 東京: 丸善出版; 2017. 25 章, 消化器のはたらきとその調節の全体像, 26 章, 消化と吸収、および栄養学の基礎; p. 542-89.

◆ **原 著**

- 1) Shimizu T, Higuchi T, Toba T, Ohno C, Fujii T, Nilius B, Sakai H. The asparagine 533 residue in the outer pore loop region of the mouse PKD2L1 channel is essential for its voltage-dependent inactivation. *FEBS Open Bio*. 2017 Aug; 7(9): 1392-401.
- 2) Maruhashi R, Akizuki R, Sato T, Matsunaga T, Endo S, Yamaguchi M, Yamazaki Y, Sakai H, Ikari A. Elevation of sensitivity to anticancer agents of human lung adenocarcinoma A549 cells by knockdown of claudin-2 expression in monolayer and spheroid culture models. *Biochim Biophys Acta*. 2017 Dec 13; 1865(3): 470-9.

◆ **総 説**

- 1) Hibino H, Takai M, Noguchi H, Sawamura S, Takahashi Y, Sakai H, Shiku H. An approach to the research on ion and water properties in the interphase between the plasma membrane and bulk extracellular solution. *J Physiol Sci*. 2017 Jul; 67(4): 439-45.

◆ **学会報告**

- 1) 清水貴浩, 鍋島彰太, 藤井拓人, 小澤茂喜, 家原貴大, 酒井秀紀. ヒト TMEM16F 蛋白質のイオン・リン脂質輸送機能における連関. 第6回生体界面研究会; 2017 Feb 9-10; 金沢.
- 2) 藤井拓人, 清水貴浩, 酒井秀紀. 胃酸分泌細胞膜界面のイオン動態の解明. 第6回生体界面研究会「若手の会」; 2017 Feb 9; 金沢.
- 3) 藤井拓人, 斎藤祐輝, 清水貴浩, 永森收志, 金井好克, 酒井秀紀. マウス ATP13A4 のカチオン輸送機能の解析. 日本薬学会第137年会; 2017 Mar 24-27; 仙台.
- 4) 清水貴浩, 樋口大河, 藤井拓人, Bernd Nilius, 酒井秀紀. PKD2L1 チャネルのポア外側領域が電位依存的な不活性化に寄与する. 第94回日本生理学会大会; 2017 Mar 28-30; 浜松.
- 5) 藤井拓人, 斎藤祐輝, 清水貴浩, 酒井秀紀. 自閉症関連カチオンポンプ ATP13A4 の機能解析. 第94回日本生理学会大会; 2017 Mar 28-30; 浜松.
- 6) 藤井拓人, 高橋康史, 清水貴浩, 酒井秀紀. 胃酸分泌刺激による壁細胞頂端膜界面の構造変化. 平成29年度生理研研究会「生体界面研究会」; 2017 Jul 6-7; 岡崎.
- 7) 村田 望*, 杉本健士, 三浦優佳, 清水貴浩, 藤井拓人, 松谷裕二, 酒井秀紀. ジヒドロピラゾール誘導体の大腸粘膜イオン輸送に対する効果. 平成29年度生理研研究会「体内環境の維持機構における上皮膜輸送の多角的・統合的理解」; 2017 Sep 7-8; 岡崎.
- 8) 清水貴浩, 鍋島彰太, 藤井拓人, 小澤茂喜, 酒井秀紀. TMEM16F の機能的多様性の連関機構の解析. 第64回中部日本生理学会; 2017 Oct 6-7; 甲府.
- 9) 藤井拓人. SICM を用いた胃酸分泌細胞頂端膜界面の形状解析. ナノ計測勉強会 2017; 2017 Oct 11-13; 鳳珠郡能登.
- 10) 鍋島彰太*, 清水貴浩, 藤井拓人, 小澤茂喜, 酒井秀紀. TMEM16F 変異体のリン脂質スクランブラーゼ活性とアニ

オンチャネル機能の解析. 第 39 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム ; 2017 Oct 26-27 ; 金沢.

- 11) 井上貴斗*, 出口徳泰, 藤田恭輔, 阿波加隼也, 田渕圭章, Ursula Seidler, 清水貴浩, 藤井拓人, 酒井秀紀. 胃酸分泌細胞基底側膜の Cl⁻ 輸送タンパク質 SLC26A7 の機能解析. 第 39 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム ; 2017 Oct 26-27 ; 金沢.
- 12) 村田 望*, 杉本健士, 三浦優佳, 清水貴浩, 藤井拓人, 松谷裕二, 酒井秀紀. ラット単離大腸粘膜の Cl⁻ 輸送に対するジヒドロピラゾール誘導体の阻害効果. 日本薬学会北陸支部第 129 回例会 ; 2017 Nov 26 ; 金沢.
- 13) 川島健太郎*, 大野智恵, 清水貴浩, 藤井拓人, 酒井秀紀. 細胞容積調節性アニオンチャネルの構成因子 LRRC8E の機能. 日本薬学会北陸支部第 129 回例会 ; 2017 Nov 26 ; 金沢.
- 14) 柳瀬宣広**, 清水貴浩, 藤井拓人, 榊原陽香, 酒井秀紀. TRPV1 チャネルの外向き電流に対する細胞内 ATP の効果. 日本薬学会北陸支部第 129 回例会 ; 2017 Nov 26 ; 金沢.
- 15) 松田夏穂**, 清水貴浩, 藤井拓人, 富井寿詠, 酒井秀紀. 細胞容積調節機構に関与するアニオンチャネルの機能制御分子. 日本薬学会北陸支部第 129 回例会 ; 2017 Nov 26 ; 金沢.
- 16) Siriporn Phutthathiraphap*, 藤井拓人, 清水貴浩, 酒井秀紀. 胃プロトンポンプ活性に対する Sonic hedgehog の効果. 日本薬学会北陸支部第 129 回例会 ; 2017 Nov 26 ; 金沢.

◆ その他

- 1) 酒井秀紀. Mechanism of Gastric Acid Secretion and Medicines for Gastro-esophageal Diseases. 新潟大学 世界展開力強化事業 (G-MedEx) 統括センター ロシアプロジェクト特別講演 ; 2017 Feb 21 ; 新潟.
- 2) 酒井秀紀. 膜輸送タンパク質研究の最前線～創薬につなげる多階層ネットワーク～. フォーラム富山 第 45 回研究会 コーディネーター ; 2017 May 18 ; 富山.
- 3) 酒井秀紀. 「薬都とやま」の新展開～異分野融合からのイノベーション～. ノーベル化学賞受賞者田中耕一先生とともに薬都の未来を語る会 総合司会・コーディネーター ; 2017 Sep 26 ; 富山.
- 4) 酒井秀紀. 富山のくすり～伝統と未来～. 北日本四季の会例会 ; 2017 Oct 22 ; 富山.